

中津警察署協議会

第2回会議の開催状況

第1 開催月日

令和4年10月3日（月）

第2 出席者

協議会 委員 7名

警察署 署長、副署長、刑事官、総務課長、会計課長、留置管理課長、
生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長 11名

第3 議事の概要

1 業務説明等

警察署から

- ・管内概況
- ・業務推進状況

について説明がなされた。

2 令和3年度諮問事項の答申に対する取組状況

警察署から、令和3年度諮問事項「自転車の安全利用に関する広報啓発方策」の答申に対する取組状況について説明がなされた。

3 諮問事項に関する意見

令和4年度諮問事項「高齢者の被害防止に資する情報発信」について、各委員から

- ・ 若者はSNSで情報を収集することが可能だが、高齢者は市報が一番のツールとなっている。中津市は防災無線は希望者のみであり、独居者への情報提供等の対応は、市役所の協力が必要だ。
- ・ 高齢者と話をしてみると、「自治会の役ができないから、自治会に入っていない。だから市報が配布されない」という人が多い。こういった人のために、注意喚起のパンフレット等があると良いし、それを配布してもらえたら良いと思う。ただし、高齢者は、「難し日本語」、「字が小さい」、「カタカナやローマ字を多用」というようなものは見ない。
- ・ 市報が配布されない高齢者も、病院、ドラッグストア、デイケアには足を運ぶ率が高いので、そういったところに配布物を配ると良いと思う。
- ・ 防犯講話等では、高齢者が聞いたときにどう伝わるか、高齢者が講話を聞いて、そのとおりに動けるかなど、高齢者が被害に遭いそうな場面では「こんな風にしたらいいよ」というイメージを作らせながら具体的に教えてあげて欲しい。
- ・ 平成20年に発行された「地域安全ニュース」というチラシを持っているが、大変役に立つので、新しく作って配って欲しい。
- ・ 市報の中に、特殊詐欺に関するチラシが入っていたことがあり、とても身近に感じたので、民生委員にチラシを配ってもらう等の連携ができればもっと良いと思う。
- ・ 独居が多くなっている。民生委員にチラシ配布を依頼してはどうか。連携することが必要。
- ・ 市民に対して、「今、警察は〇〇と連携して、〇〇対策をやっています」等と広報してくれた方が動きが目に見えていろんな人が活用しやすいのでは

ないかと思う。警察が全てを請け負うのではなく、市のように徐々に外部に委託していくことも検討した方が良いと思う。

旨の意見がなされ、警察署から「犯罪の検挙も大きな仕事の1つであるが、予防も考えていかねばならない。特に、高齢者に対する情報伝達については、皆様の意見や要望を踏まえ、あらゆる手段を検討していきたい」、「現在、若手警察官を中心にグループを作り、広報啓発活動のプレゼンテーションを準備している。次回第3回の協議会において発表を行い、そこでまた各委員から意見を出して貰い、情報発信の方法についてご検討いただきたい」旨の回答がなされた。